

2019年12月3日
JR東日本秋田支社

男鹿線へ交流蓄電池電車 ACCUM「EV-E801系」を追加投入します

JR秋田支社では、非電化区間の環境負荷低減を目的として、交流電化区間と非電化区間を走行できる交流蓄電池電車ACCUM「EV-E801系」2両1編成を男鹿線に先行投入し、2017年3月4日から営業運転を行っています。

このたび、環境対策（CO₂削減）及び老朽した気動車の取替えのため、車両を新造し、男鹿線の車両を交流蓄電池電車ACCUM「EV-E801系」に統一します。

1 運転区間

秋田駅～男鹿駅間（追分駅～男鹿駅は非電化区間）

2 追加投入時期

2020年度以降を予定

詳細については改めてお知らせいたします。

3 車両概要

	ACCUM「EV-E801」系		キハ40形・キハ48系 (現行、運行している気動車)
車両形式	Mc EV-E801	Tc' EV-E800	1両編成 (キハ40形) 2両編成 (キハ48系)
定員 (人)	132	130	1両編成 : 96 2両編成 : 236
出入口	片側3か所 (両開き) 有効開口幅 1300 mm 床面高さ 1135 mm		片側2箇所 (片開き) 有効開口幅 885 mm 床面高さ 1240 mm
座席配置	ロングシート		ロングシート BOXシート
トイレ	有		有

※ 各数値は計画値であり、変更となる場合があります。